

交換留学（派遣）近況報告書

留学先大学 : ポローニャ大学
 留学先での所属学部・研究科 : 経済学部
 留学先での在籍身分 : 交換留学生
 留学期間 : 2017年02月～2017年07月
 神戸大学での所属学部・研究科 : 農学部
 学年（出発時） : 2年
 本報告書記入日 : 2017年05月05日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> _____ <期間> _____

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

<input checked="" type="checkbox"/> 国際教育総合センターの教員	<input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の教員	<input type="checkbox"/> 友人
<input type="checkbox"/> 以前に参加した先輩	<input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の掲示板	<input type="checkbox"/> 神戸大学のホームページ
<input type="checkbox"/> 留学フェア	<input type="checkbox"/> その他（具体的に）_____	

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 学術的な目的（研究を深める等） | _____ 地理的な条件が良い |
| 2 語学力の向上 | _____ 旅行ができる |
| 4 将来のキャリアのため（就職に役立つ等） | _____ プログラムの時期が良い |
| _____ 家族のバックグラウンドと関係がある | _____ プログラムの期間が良い |
| 3 異文化体験 | _____ 経費が安い |
| _____ 個人的な理由 | _____ その他（具体的に）_____ |

1-4. VISAについて

VISAの種類 : 就学VISA

申請先 : イタリア大阪総領事

必要日数 : 約2週間

VISA取得にかかった費用 : €50

VISA申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

①長期（91日以上）ビザ用申請用紙②近影カラー証明写真（35 x 45 mm／背景は白）1枚（申請用紙に貼付）③パスポート（ビザ失效日より3ヶ月以上の有効期間が残っているもの）④パスポートのメインページのコピー⑤日本国籍保有者：直近（1週間以内）の住むいる／それ以外の国籍の保有者：在留カードとその両市のコピー⑥住居に関する書類（賃貸契約書、貸主などの入居証明書、ホームステイ先からの受け入れ承諾書など）⑦本人の資金の入っている銀行口座の通帳とそのコピー（留学資金が自己資金の場合）⑧所定の保証書、実印登録証明書、資金の入っている保証人名義の銀行口座の通帳とそのコピー（親が資金提供する場合）⑨イタリアの大学の入学許可書（=受け入れ承諾書）⑩日本の大学から当館にあてた英文のビザ発給依頼書（書式は自由）⑪大学間で取り交わされた交換留学協定のコピー⑫滞在の全期間をカバーする、医療費の項目が無制限の海外傷害保険の契約書⑬について、私は大学からの住居証明書でOKでしたが、同時に申請した他の学生は予め住居を決定し、住居証明を提示しなければならなかつたという違いがありました。また、資金証明として、親の通帳から私の通帳に資金を移し、私の通帳を持って行ったところ、「数日前に親から資金が振り込まれている。これは自己資金とは言えない。」とのことで親の通帳を要求されました。このように総領事の担当者によって異なるようで、うまく進まなかつた時のために早めに申請を始めた方が良いと言えます。

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

特にありませんでした。

1-6. その他に必要だった手続き、方法、料金等

特にありませんでした。

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社 : AEROFLOT

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）: Expedia

留学先大学最寄り空港名 : ボローニャ 空港

空港到着時間 : 21 時頃

空港からの移動手段 : 大学手配の出迎え 知人の出迎え 公共交通機関 バス、鉄道 タクシー
その他（具体的に）_____

移動の所要時間・料金 : 40 分, €6

空港からの移動の際の注意点 :

まれに、道案内人を装って案内をした後、お金を請求してくる方々がいます。また、市バスのアナウンスはイタリア語です。英語に期待してはいけません。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無 : 有り 無し

参加について : 必須 任意参加

参加費用 : 無料 有料（金額 : _____)

内容について記入してください。

試験の登録方法、学生証の配布

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

必要です。大学の在籍証明(次項目を参照)を行うと、その後デスクの方が指示をくださいます。それに従っていけば、約2ヶ月ほどで終了します。ステップが5段階ほどあり、日時・時間指定もあるので忘れないよう注意が必要です。合計で€50程かかりました。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

大学への在籍証明を行う必要がありました。入学許可証とパスポートが必要です。the Exchange Students Desk(Diri)という場所で無料で手続きできます。デスクの方は英語にも対応していました。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

大学付近のプライベートレッスンに参加しました。レベルはA2、授業内容は会話がメインで、文法事項は必要最低限、という印象でした。先生は非常に明るく熱心に授業をしてくださいました。授業を休んでも振替個人レッスンを行ってくれるなど対応が素晴らしかったです。料金は€90/月ですが、2ヶ月まとめて申し込むと€75/月。

留学先大学：ボローニャ大学

留学先での所属学部・研究科：経済学部

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2017年02月～2017年07月

神戸大学での所属学部・研究科：農学部

学年（出発時）：2年

本報告書記入日：2017年05月05日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

情報収集は主にボローニャ大学公式ホームページで行いました。シラバス検索は昨年のものや非開講のものまで表示されたりと整備されていないように感じられましたが、情報量はとても多く、欲しい情報がない、ということはありませんでした。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
住居（寮、アパート）の名前：Via Giuseppe Tartini 6, Bologna
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：ボローニャ→徒歩20分、リミニ→電車120分
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

市街地から徒歩20分、大通りのはずれという立地のため、普段はとても静かです。窓からは自然豊かな景色も望め、落ち着いた暮らしが期待できます。スーパー等の店も徒歩数分のところにあり、重たい買い物にも困りません。ただし、休日には近所の建物がバーやクラブとして使用されるため、深夜まで騒音が続くこともあります。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的には自炊をしています。物価が比較的低いため、外食に比べてとても安く上がります。外食すると、ピザは1ピース€2、中華一皿€4、ケバブ€4、レストラン€10程度です。夜になるとカフェなどが"Aperitivo"というドリンク付きの食べ放題を€7程度で実施しているため、そこに行けば夕食でも安くお腹いっぱい食べられます。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航前に見つけましたが、実際に会えない、滞在期間（6ヶ月）が短い等の理由から住居探しは難航しました。Housing Anywhereというサイトを主に使っていましたが、相場は€250~450程でした。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありませんか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ

- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

履修したい授業はいくつもありましたが、時間割の関係でとれませんでした。というのも、こちらには1限、2限といった概念がなく、12:00~15:00のものもあれば13:00~16:00のものもあります。また、基本的に1つの授業につき週に2回あるため、授業時間がかぶりやすく、時間割を綺麗に組みづらいです。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	International Trade	Gianmarco Irene Paolo Ottaviano/Alireza Jay Naghavi	6	8	約40人	予め講義スライドがWeb上にアップされるため、予習復習は可能です。テストは、2回の小テストか1回の期末テストのどちらかを選択できます。範囲が広いため、個人的には小テストをお勧めします。
2	Environmental Sustainability Assessment in Waste Prevention and Treatments	Fabrizio Passarini	6	6	約15人	こちらは先生の都合でスライドは授業後にアップされましたので、復習は可能です。
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

現地学生はとにかく自分の考えをためらいなく発せる、という点が目立ちました。授業中でも疑問があれば教授に質問し、グループワークでは率先して解答を作ろうとしており、国民性もあるだろうが、学習に対する意欲がよく表れていました。また、多くの学生がテスト期間以外にも図書館を利用していた。成績評価については、あまり透明性は無かった。つけられた点数がメールで送られてくるシステムだったが、その点数には間違いが多かった（課題を提出したのに0点、グループワークなのにメンバーによって点数が違う、等）ため、鵜呑みにしない方が身のためだと感じました。点数は指摘すれば早急に対応してくださいます。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00					9:00~12:00		
9:00					Assessment in Waste Prevention and Treatments		
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00	16:00~19:00				17:15~19:15		
18:00	International Trade				イタリア語の授業		
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想　自由に記入してください。(800字~)

留学が始まってからの3ヶ月間というもの、驚きの連続です。当然ですが、イタリアでは日本で培ってきた常識は通用しません。皆、道端でもバスの車内でもところかまわず賑やかに話していますし、イタリアではお客様は神様ではありません。店員さんが不愛想なんて当たり前で、時には怒鳴られることだってあります。来たばかりの時はこれらの違いに圧倒され、ストレスを感じていましたが、時が経つにつれ、これらは文化の違いであり、イタリア人の自由で自分に正直な性格から生まれているものだ、と受け入れられるようになりました。それからはストレスを感じることが少なくなり、とても過ごしやすく思います。時には、日本人は自分を抑圧しすぎているのではないか、とさえ思うようになりました。

言語の面でも初めは苦労ばかりでした。現地に入るまでは、英語で何とかなるだろう、と楽観的に考えていたのですが、全くそうはいきません。もちろん英語を話せる人もいますが、基本的にはイタリア語のみで、移民局のスタッフでさえ「イタリア語を話せ！」と怒鳴ってくるほどでした。私はイタリア語を全く話せず、チューターもいなかったため、一人で滞在許可証取得手続きをした時には、完全に打ちのめされた気分でした。しかし、生活の中で出会った人たちのおかげで、少しずつ話せるようになってきました。

のことからだけではありませんが、本当に人に恵まれたと感じています。拙いイタリア語の私と辛抱強く話してくれ、食事やイベントなどに誘ってくれる友人ができ、イタリアの文化や食についてよく教えてくれ、困ったときには親身になって助けてくれるルームメイトと共に暮らし、彼らのおかげで非常に充実した生活を送ることができます。また、日本文化に興味がある人たちと、文化交換を行うのも興味深く、また自国の文化を改めて深く知るいい機会となっています。

留学期間の半分が過ぎましたが、今一度留学の目的や達成したいことを振り返り、焦らず自分のできることをしながら残りの留学生活を送っていきたいです。